

フレキシブル構内光ファイバケーブル

優れた施工性が評価され通信事業者殿へ納入開始

昭和電線電纜株式会社(取締役社長:富井 俊夫)は、中部電力株式会社(ひかりネット・カンパニー)殿、株式会社STNet殿向けに、施工性に優れたフレキシブル構内光ファイバケーブルの納入を開始しました。

FTTHサービスの低価格化やメニューの多様化により、戸建住宅、マンションなどのFTTH(ファイバ・トゥ・ホーム)加入者数が増加していることから、光配線に使用される光ファイバケーブルには、これまで以上に細径・軽量で施工時の作業性に優れた製品が求められています。

開発段階からこれらのお客様のご要望を取り込み設計したフレキシブル構内光ファイバケーブルは、テンションメンバに抗張力繊維、外被に低摩擦難燃ポリウレタンを使用することで、主に3つの特徴を実現し、通信事業者殿よりご評価いただきました。

細径、柔軟、低摩擦で布設し易く耐磨耗性が高い

既設配管やフリーアクセスなどで作業性向上

ケーブル外被がむき易く光ファイバ心線の取り出しが容易

接続作業効率が向上

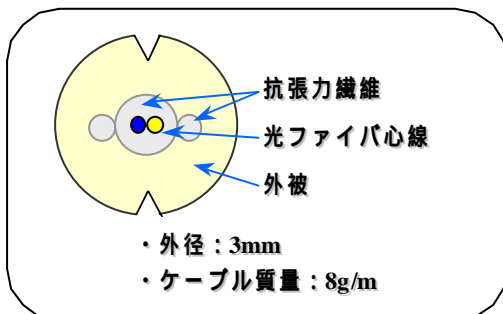
環境対応製品

ビルのオーナー・加入者様のご要望に対応

本ケーブルには、ケーブルの直接繰り出し、巻き戻しが容易で、持ち運び性・布設作業性に優れたリールインボックスを採用。また、ケーブルには直接光コネクタも取り付けられ、宅内配線などの用途にもご使用いただいております。



布設風景



ケーブル構造例



コネクタ付ケーブル(1心の場合)

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

広報: 総務・広報グループ	03-5532-1911
営業: 通信システム営業部通信システムグループ	03-3597-7196
技術: 通信システム営業技術部 通信技術グループ	03-3597-7131